

■開山十三回忌を厳修■

去る二月五日午後二時から、開山・榎庵白純大和尚の十三回忌法要が東京・本駒込の吉祥寺・岩本昭典老師の導師により厳修された。

開山の榎庵白純大和尚は黒田方丈の師父。白純和尚は大本山総持寺の副監院、曹洞宗審事院長、全日本仏教会事務総長などの要職を歴任し、昭和五十四年二月四日に遷化した。導師を勤めた岩本老師は、白純和尚が総持寺顧問会長の頃に総持寺貫首だった故・岩本勝俊禅師の資子であり、全日仏事務局で白純和尚の下で働いたなどの縁がある。

法要後、岩本老師は「数年ぶりに当山に足を運び、焼香させていただけだ。感動多き法要だった」と語り、「白純老師は、お会いするうちにす

中央・岩本昭典老師



身交甲子月轉中...

中有三子...

尚得開創多奇基

善光寺...

聖龍... 刻去...

南寺... 山探...

展飾... 宮生...

湯佛... 宮生...

可喝... 珠題...

身似... 支文...

法重... 輕...

更十... 年...

非道... 生...

任報... 國...

即... 想...

多... 手...

身... 像...

只... 見...

土... 時...

つかり黒田ファンになるという大きなお徳を備え、一見、芒洋とした風貌の中にも細かい心遣いのある方だった。雄弁ではないが、訥々とした中に仏法の法力に与るようなお話ぶりだった」など白純和尚との出会いや全日仏時代の逸話を披露して往時を偲んだ。

本寺の栃木県大田原市・光真寺住職黒田俊雄老師は「黒田方丈は住職二十二年になる。無一物中無尽蔵を實踐し、無尽蔵の花を咲かせた。これもご開山のお力と思う」と挨拶。法要後の供養の席で、黒田方丈は「本日は本当に身内の方と平素お世話になっていてる方だけをお招きした」と参列者に感謝の言葉を述べた。

上は岩本昭典老師御揮毫の香語を表装したもの